

令和元年度第1回大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会 及び 令和元年度第1回大和市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時 令和元年5月30日(木) 15時00分から16時45分
場 所 大和市保健福祉センター1階保健指導室・検診室
出席者 委員 8名、事務局 14名
内 容

■第1回大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会

1. 開 会
2. 内 容
 - (1) 令和元年度 大和市認知症初期集中支援推進事業について
 - (2) 令和元年度 大和市認知症初期集中支援チーム活動計画について
 - (3) その他
3. 閉 会

配布資料

- 資料1 大和市認知症初期集中支援推進事業実施要領
資料2 大和市認知症初期集中支援チームの流れとチーム員会議イメージ図
資料3 令和元年度 大和市認知症初期集中支援チーム活動計画

■第1回大和市地域包括支援センター運営協議会

1. 開 会
2. 内 容
 - 1) 報告
 - ・地域包括支援センター配置職員の異動状況について
 - 2) 議事
 - (1) 平成30年度 事業実績報告及び収支決算について
 - (2) 令和元年度 事業計画及び収支予算について
 - (3) 介護予防支援の委託について
 - 3) 地域ケア推進会議
 - (1) 平成30年度 大和市地域ケア会議年間実績一覧
 - (2) 平成30年度 個別レベルの地域ケア会議 まとめ
 - (3) 令和元年度 大和市地域ケア会議年間開催計画一覧
 - (4) 令和元年度 大和市地域ケア推進会議 年間開催計画表
 - 4) その他

3. 閉 会

配布資料

- 資料1 平成30年度 実績報告及び収支決算について
- 資料2 令和元年度 事業計画及び収支予算について
- 資料3 令和元年度 地域包括支援センター委託状況について
- 資料4 介護予防支援の委託について
- 資料5-1 大和市地域ケア会議年間実施一覧
- 資料5-2 個別レベルの地域ケア会議 まとめ
- 資料5-3 大和市地域ケア会議年間開催計画一覧
- 資料5-4 令和元年 大和市地域ケア推進会議 年間開催計画表

■第1回大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会

1. 開 会

- ・事務局挨拶
- ・大和市認知症初期集中支援推進事業実施要領 第5条第2項に基づき、認知症初期集中支援チーム検討委員会の会長、職務代理、委員については、大和市地域包括支援センター運営協議会の会長、職務代理、委員をもって充てるものとする旨を報告
- ・会長挨拶
- ・会長司会により、次第に沿って進行

2. 内 容

- (1) 令和元年度 大和市認知症初期集中支援推進事業について
- (2) 令和元年度 大和市認知症初期集中支援チーム活動計画について

以上の(1)(2)については関連する内容のため、事務局より一括して説明

<質疑応答>

委 員：年間計画の対象者が月1件・年間12件とは、どのように対象者を絞り込んでいるのか。

会 長：地域包括支援センターや在宅・医療介護連携支援センター、市役所の窓口等の各連絡窓口があり、相談にいらした方々の中から、初期集中支援チームで対応

した方が良いのではと判断した方を対象としている。

事務局：年間12件という計画については、前年度(平成30年度)は年間13件、前々年度(平成29年度)は年間11件であり、これまでの平均的な数字から、月に1件程度の相談が来るという想定によるものである。計画を上回る件数の相談が来た場合も対応する。

事務局：認知症の方への通常の支援は地域包括支援センター、ケアマネジャー、市ケースワーカーや保健師で行っているが、中でも特別なチームで対応したほうが良いと判断する件数が、年間12件くらいになる。もちろん、認知症で困っている方々の支援は、ここには示していないが多くの件数を対応している。

委員：ご本人が認知症であるという自覚がない、またはご家族がまだ相談するに至らないという考えでいる方もおり、そういった方々の件数も今後増えてくるのではないかと思うが、絞った範囲で対応をするという事か。

会長：地域包括支援センター等の各窓口での相談件数が増えている通り、認知症の方の数は増えている。初期集中支援チームで対応する件については、個々の地域包括支援センターだけで対応するよりも、市役所のノウハウを使い専門のチームによる訪問等で対応するのが良いと考えられるケースであり、年間でこのくらいの数になっている。

事務局：認知症の方は、推計値では右肩上がりで増えてきているが、全国的な高齢者のうちの認定症の方の割合を大和市に当てはめると、現時点で大和市の認知症の方は9,500人ほどと推計される。高齢の方の増加率は数年をかけて5%くらいになるが、団塊の世代の方が今現在70歳近くになっているため、65歳以上の人口割合は伸び率が止まっている状況である。そのため、今課題になっているのは、75歳以上の後期高齢者の認知症の方の伸び率であるが、当然増加し続けてはいるが、年々倍になっていたり、20~30%伸びていたりという事ではない。それを勘案して、初期集中支援チームの計画で年間の支援の対象を過去の実績数の平均とほぼ同様に計画している。実際には対応が必要な方が、さらに5人、6人と増えることもあると思うが、ここ数年の平均を見て計画をしている。もし実際に、倍の件数になったとしても当然対応していく。

委員：新規以外で、昨年からの継続件数は何件あるのか。

会 長：2件継続中である。

議事事項（１）（２）については、委員全員一致により了承とする

（３）その他

- ・次回開催は、大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会は令和元年10月を予定しており、決定次第通知する。
- ・議事録については、議事録案を作成し各委員に確認していただいた後に、市のホームページに掲載する。

3. 閉 会

- ・会長より閉会挨拶

■第1回大和市地域包括支援センター運営協議会

1. 開 会

- ・事務局挨拶
- ・大和市地域包括支援センター運営協議会規則（以下「規則」という）第6条第2項の規定に基づき、出席者が過半数に達しているため会議成立の旨を報告
- ・事務局員の挨拶
- ・会長の司会により、次第に沿って進行

2. 内 容

1) 報告

- ・地域包括支援センター配置職員の異動状況について
○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答> な し

報告事項について、委員全員一致により了承とする

2) 議事

- （１）平成30年度 事業実績報告及び収支決算について
- （２）令和元年度 事業計画及び収支予算について

以上の(1)(2)については、関連する内容のため事務局より一括して説明

<質疑応答>

委員：収支決算と収支予算についてだが、南林間地域包括支援センターと鶴間地域包括支援センターのその他の収入にある、中退共済掛金補助は、この2か所だけが加入しているという事なのか。

事務局：例年同様の調査を行っており、南林間地域包括支援センターと鶴間地域包括支援センターのそれぞれの会計担当から、このような形で報告を受けている。恐らく、職員の退職金の掛け金の積み立てからの補助だと思うが、その収入を地域包括支援センター事業に配置されている職員の分として厳密に充てているのか、若しくは法人全体の総務費等に充てているのかといった、法人の考え方の違いだと思う。当該2か所の地域包括支援センターの法人は、前者の考え方により、対象となる職員が配置されている事業の所へ充てるという考え方で行っているのだと考える。

委員：平成30年度の介護予防サポーター講座は、計画から実績に大きな差があるのはなぜか。また、次年度の計画も前年度の計画とほぼ同じ数字になっているが、この程度の受講者数を市が希望し、各地域包括支援センターがその数字に合わせているのか。

事務局：昨今、地区によっては協議体の事業等があり、介護予防サポーター講座への参加が一時的に減っており、実態として結果が計画を大幅に下回るという事になり兼ねないが、各地域包括支援センターとしては、確保している会場の定員に達する程度の人数を見込んでいる。計画値については、例えば、定員が20名に対して計画を近年の平均値である12名とするか、定員である20名をそのまま計画とするか、それぞれの考え方によると思う。

委員：数値の算出方法について、理解した。

報告事項（1）（2）について、委員全員一致により承認とする

（3）介護予防支援の委託について

○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答> なし

議事事項（3）については、委員全員一致により承認とする

3) 地域ケア推進会議

○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答> な し

報告事項については、委員全員一致により了承とする

4) その他

- ・次回開催は、大和市地域包括支援センター運営協議会は令和元年7月18日（木）午後に予定しており、決定次第通知する。
- ・議事録については、議事録案を作成し各委員に確認していただいた後に、市のホームページに掲載する。

3. 閉 会

- ・職務代理より閉会挨拶